



本校駐車場に設置された宇都宮健康クリニックのレントゲンバス

# あじけん通信

2013 MARCH  
VOL.63

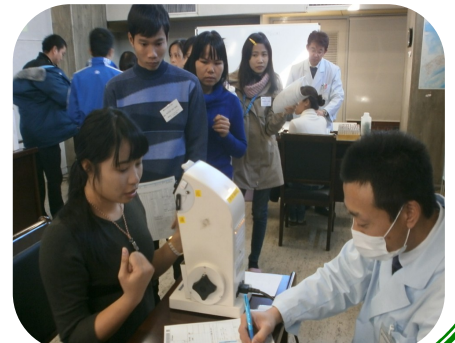
株式会社ティビィシー国際外語学院

企画・編集 澁谷 健司

3月に入って季節も徐々に春めいてきました。毎月実習生の体調管理のことを書かせていただいておりますが、今月は「心の健康管理」の重要性についてお話ししたいと思います。実は先日、来日直後のある中国人実習生の方が、自分の日本語力不足に悩んでしまい、教室に足が向かなくなってしまうことがありました。幸いにもその実習生は、本校の中国語が話せる日本語講師とのカウンセリングや、受け入れ団体の方の迅速な対応によって、すぐに自信を取り戻し、間もなく教室に復帰することが出来ました。この一件を通して、日本語教育における学習者のメンタル面でのケアの大切さを実感しました。近年、効果的に第2言語を習得していく上で、情意面の果たす役割が大変クローズアップされてきています。今後とも、アジ研スタッフ一同「心と体の健康管理」をキーワードに実習生の日本語学習をサポートしていきたいと思っております。

## あじけんスコープ Vol.8 ～実習生の健康診断～

今回のあじけんスコープは、希望する受け入れ団体の方々を対象に、本校を会場として実施させていただいている実習生のための健康診断の様子をご紹介します。この健康診断は、医療機関である医療法人宇都宮健康クリニックの方々に来ていただき、実習生が技能実習をスタートさせるために義務づけられている健康診断（採血・検尿・血圧・心電図・胸部レントゲン・視力・聴力、医師による問診）を実施しています。会場では、日本語での指示に従って、全ての検査を受けることになるので、各検査項目の担当者の指示がよく理解出来ずに戸惑う実習生も少なくありません。そこで、通訳として本校スタッフが立会い、円滑に健康診断が行なえるようお手伝いをさせて頂いております。



## 今月の実習生

今月ご紹介するのは、中国からの実習生・陳紅蓮（チンコウレン）さんです。まずは右の写真を見てください。一見、ごく普通の技能実習生の写真ですが、実は陳さんが着ているシャツに秘密があるんです。陳さんは15歳の時から20年間縫製の仕事をしていて、趣味も縫製。この服は、なんと自分で作ったシャツなんです！写真では伝わりにくいかもしれませんが、さすがはオーダーメイド、サイズもぴったり、作りもしっかりしていました。シャツの他、スカート・ズボン、バックも自分で作ってしまうそうです。また、子供服を作るのも得意で、自分のお子さんの服の殆どが、陳さんの手作りだそうです。



# あじけん流日本語授業

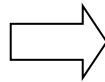
今回は実習生の「書く」技能の定着のために取り組んでいる『アジアけんしゅうセンター につぼう』を活用した活動の実践例をご紹介します。

この活動は毎日8時間目（1日の最後の授業）に行なわれています。先ずその日の日直の実習生が、先生から預かった『につぼう』を実習生に返却します（STEP1）。次に実習生は、その日の学習内容と1日の感想を記入します（STEP2）。最後にまた日直の実習生が『につぼう』を回収して、担当の先生に手渡します（STEP3）。その後、担当講師は実習生の書いた内容についてコメントを書き、文法的なミスがあればフィードバックを行い翌日の8時間目に、その日の日直に手渡します。

この「書く」ことでのアウトプットの利点は、①自分の文法力が客観的に把握できる ②文法的な正確さに注意を払うようになる ③自分が言いたいことを辞書を使って表現するので新しい単語の習得を促す等が挙げられます。また、この継続性という利点もあります。『につぼう』記入は、遅くとも講習2日目からは開始され最終日まで毎日行なわれます。本校の授業は会話力の向上を目的とした活動が多いので、どうしても「書く」「読む」活動の時間が少なくなってしまうがちなのですが、この『につぼう』の記入を継続的行なうことで、「書く」指導の時間がしっかり確保出来るようになっています。



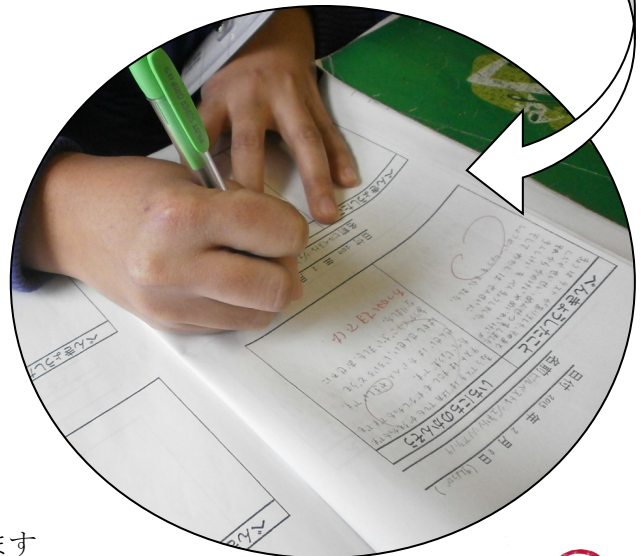
STEP1:係りの実習生が『につぼう』を返却



STEP2:『につぼう』を記入する実習生



STEP3:係りの実習生が先生に『につぼう』を手渡します



※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます